

# 令和8年度研究推進計画

学校名 東広島市立向陽中学校

学校長名 河中 弘子

## 1 研究主題、研究内容・方法等について

研究主題	論理的思考力・判断力・表現力を高める学習指導の工夫 ～対話的な活動を通して、一人一人が伸びていく～
主題設定の理由	<p>本校では、3年前から「論理的思考力・判断力・表現力を高める学習指導の工夫」を研究主題に掲げ、話し合い活動を通して生徒の表現力を高めるための研究をしてきた。中学校学習指導要領（平成29年告示）解説総則編では、育成すべき資質・能力の3つの柱として、「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」を涵養することが示され、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められている。</p> <p>特にこの2年間は生徒が思考力・判断力・表現力を高め、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるように、「三角ロジック」や「対話型論証」を取り入れた授業改善に取り組んできた。全国学力・学習状況調査における生徒質問紙の「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」の項目では、令和7年度には61.9%となり、論理的に思考する活動を繰り返し行ってきたことが、生徒の意識の向上につながっていると考えられる。しかし、他の項目と比較すると依然として低い状態にある。また、授業での生徒の様子からは、「三角ロジック」や「対話型論証」を活用して自分の思考した内容を論理的に説明できる姿が見られるようになった。しかし、その一方で、自分の意見をつくることを苦手としている生徒もおり、生徒間での学びの深まりに差が生じている様子が見て取れた。</p> <p>このことから、今年度は論理的に説明する力の育成に重点を置いてきたが、来年度は、個に応じた支援を取り入れながら、すべての生徒が論理的に思考できるようになることを目指す。これらのことから、根拠に基づいた論理的な思考を促すため、「三角ロジック」や「対話型論証」を取り入れた授業づくりに継続して取り組み、深化させていきたい。さらに、すべての生徒一人一人が論理的に思考する力を伸ばせるように、個に応じた視点を取り入れる。また、1人1台端末も効果的に活用しながら、生徒の論理的思考力や表現力を高めていきたい。</p>
研究仮説	授業づくりにおいて、対話的な学習活動を取り入れることによって、生徒一人一人が思考を深め、論理的思考力・判断力・表現力を高めることができるであろう。
研究内容	○対話的な学習活動を取り入れた授業実践とその改善 （「三角ロジック」「対話型論証」を取り入れた、生徒の論理的思考力・判断力・表現力を高める授業づくりの工夫）
検証の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 全国学力・学習状況調査（客観的な技能・知識レベルの読取り）</li> <li>* ワークシート、読み取るためのテスト等</li> <li>* 生徒質問紙（主観的な意識レベルの読取り）</li> <li>* 教職員に対する質問紙（主観的な意識レベルの読み取り）</li> </ul>

## 2 検証計画

検証方法	達成目標値	検証時期	担当
全国学力・学習状況調査	・市平均正答率比各教科1.00以上	8月	教科等部会
学校教育レベルアッププラン等アンケート 生徒質問紙	・対話的な学習に関する項目の肯定的回答が前年の調査より増加する。 「授業によって、自ら課題を設定し、その解決に向けて友達と協力し、解決する力を高められています」(R7 89.3%)	1月	教育研究推進委員会
学校教育レベルアッププラン等アンケート 教職員に対する質問紙	・1人1台端末の活用に関する項目の肯定的回答が前年の調査より増加する。 「児童・生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか」(週3回以上 R7 34.7%)	1月	教育研究推進委員会

### 3 校内研修計画

月	日曜	研 修 内 容	
4		校内研修会①	<ul style="list-style-type: none"> <li>■本校における教育実践（授業・総合的な学習の時間、小中一貫・接続教育、授業規律）</li> <li>■今年度の校内研究について 主題・副題・研究授業の目当て・内容・日程等確認 「対話的」「論証」「論理的思考力」「表現力」とは</li> <li>■「三角ロジック」「対話型論証」の理論研修 ■服務規律</li> </ul>
6		校内研修会②	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ブロック別研修（話し合い活動、三角ロジック・1人1台端末の活用など） ■服務規律</li> </ul>
7		校内研修会③	<ul style="list-style-type: none"> <li>■授業実践取組交流（研究主題に沿った取組—自己評価、授業評価） ■服務規律</li> </ul>
8		校内研修会④	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生徒指導研修 ■SCによる研修 ■服務規律</li> </ul>
9		校内研修会⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>■情報教育 ■服務規律</li> </ul>
10		校内研修会⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>■前期の課題と成果 ■服務規律</li> </ul>
12		校内研修会⑦	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力調査問題の分析（成果と課題や生徒につけるべき力の教科間の共有） ■服務規律</li> </ul>
1		校内研修会⑧	<ul style="list-style-type: none"> <li>■研究の検証</li> <li>■本年度の取組の成果と課題、改善点の確認</li> <li>■総合的な学習の時間の成果と課題の交流 ■服務規律</li> </ul>
2		校内研修会⑨	<ul style="list-style-type: none"> <li>■SCによる研修 ■服務規律</li> </ul>
3		校内研修会⑩	<ul style="list-style-type: none"> <li>■来年度の研究に向けて ■服務規律</li> </ul>

ブロック別研究授業実施期間